

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和6年3月18日(2024.3.18)

【公開番号】特開2022-139585(P2022-139585A)

【公開日】令和4年9月26日(2022.9.26)

【年通号数】公開公報(特許)2022-176

【出願番号】特願2021-40039(P2021-40039)

【国際特許分類】

C 0 8 F 2 / 5 0 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 F 2 9 0 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 8 F 2 / 5 0

C 0 8 F 2 9 0 / 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和6年3月8日(2024.3.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) 重合性単量体、

(B) 光増感剤、

(C) 光酸発生剤、及び、

(D) 光重合促進剤を含み、

(C) 光酸発生剤は (C - 1) $\log S$ が - 4 以下であるアニオンとのヨードニウム塩系化合物を含み、

30

(C - 1) $\log S$ が - 4 以下であるアニオンとのヨードニウム塩系化合物を (A) 重合性単量体 1 0 0 質量部に対して 0 . 5 質量部以上含む歯科用光硬化性組成物。

【請求項2】

(C - 1) $\log S$ が - 4 以下であるアニオンとのヨードニウム塩系化合物として、有機基及び P、B、A 1、S、G a のいずれか 1 つ以上の原子を有するアニオンと、アリアルヨードニウムカチオンからなるアリアルヨードニウム塩を含む請求項 1 に記載の歯科用光硬化性組成物。

【請求項3】

(C - 1) $\log S$ が - 4 以下であるアニオンとのヨードニウム塩系化合物として、少なくとも 1 つ以上の H が F 置換された有機基及び P、B、A 1、S、G a のいずれか 1 つ以上の原子を有するアニオンと、アリアルヨードニウムカチオンからなるアリアルヨードニウム塩を含む請求項 1 に記載の歯科用光硬化性組成物。

40

【請求項4】

(D) 光重合促進剤として脂肪族第 3 級アミン化合物を含む請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の歯科用光硬化性組成物。

【請求項5】

(D) 光重合促進剤として (D - 1) 2 つ以上の 1 級ヒドロキシ基を有さない脂肪族第 3 級アミン化合物を含む請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の歯科用光硬化性組成物。

【請求項6】

1 剤型の歯科用光硬化性組成物であって、

50

- (A) 重合性単量体 100 質量部に対して、
- (B) 光増感剤を 0.005 ~ 1.0 質量部含み、
- (C) 光酸発生剤を 0.5 ~ 10.0 質量部含み、かつ、
- (D) 光重合促進剤を 0.01 ~ 20 質量部含む請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の歯科用光硬化性組成物。

【請求項 7】

- 2 剤型の歯科用光硬化性組成物であって、
第一のペーストと第二のペーストとからなり、
第一ペーストと第二ペーストは質量比が 1 : 0.8 ~ 1.2 であり、
第一ペースト及び第二ペーストに含まれる (A) 重合性単量体の合計 200 質量部に対し 10
て、
(B) 光増感剤を 0.01 ~ 2.0 質量部含み、
(C) 光酸発生剤を 1.0 ~ 20 質量部含み、かつ、
(D) 光重合促進剤を 0.02 ~ 40 質量部含む請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の歯科用
光硬化性組成物。

20

30

40

50